

## 炎・スクラム・光る汗～今、限りなく青春…～ 第36回八雲山車行列

7月6日と8日、第36回八雲山車行列が開催され、町内18団体と実行委員会の山車30台が市街地を練り歩きました。雨天順延となった2日目には大賞の発表が行われ、八雲高校と八雲中学校の生徒による「Y-Girls♡」とJA八雲支部青年部とダンス教室フェアリーテイルによる「やくもAgri-nauts」がそれぞれ受賞し、受賞者にはたくさんの拍手が送られました。

また、あんどんの出来栄を評価する「山車行列賞」には、「八雲村との交流を進める会・おやじの会・NPO法人やくも元気村」と「東町倭天神」が選ばれ、おはやしや踊りを審査する「お祭り賞」には、「八雲マリア幼稚園」と「テスク&祭人」がそれぞれ選ばれました。

町内の企業や団体、学校などから総勢千人を超す参加者の中には、海外からの観光客なども多く、タイからのツアー客を招き、あんどんの紙貼りや山車の引き手として加わってもらう団体もありました。



## 交通事故防止と命の大切さを願って！ 熊石小学校 ひまわりの絆プロジェクト

京都府で2011年に交通事故で亡くなった当時4歳の東陽大くんが育てていたひまわりの種を全国に広げ、命の大切さと交通事故防止を訴える「ひまわりの絆プロジェクト」が、6月15日に熊石小学校で行われ、同校の1、2年の児童15名がひまわりの種を花壇に植えました。はじめに八雲警察署熊石駐在所の菊池基所長が「交通事故防止と命の大切さを願ったひまわりの種をみんなで咲かせましょう」と挨拶したあと、児童たちはひまわりの種を一つ一つ丁寧に植えました。参加した児童は「大事にお世話してひまわりを町中に増やしていきたい」と話していました。



## 地域に根差す金融機関として！ 道南うみ街信用金庫 木製ベンチ贈呈式

6月13日、道南うみ街信用金庫(藤谷直久理事長)から、地域への感謝の気持ちとして地場産材である道南杉を使った木製ベンチ1脚が町へ寄贈されました。道南うみ街信用金庫では、前身の江差信用金庫時代の平成26年から毎年、木製ベンチを支店のある町などへ寄贈しています。設置先のふれあい交流センターくまいし館で行われた贈呈式では、道南うみ街信用金庫加藤正樹熊石支店長から目録が手渡され、受け取った萬谷副町長は「毎年の寄贈に感謝します。町民の方々に大事に利用していただきたい」と話していました。

